

マルキュウカップ第38回山口県小学生バレーボール選手権大会県決勝大会

競技・審判上の注意

- 1 本大会は、2023年度公益財団法人日本バレーボール協会の6人制規則小学生バレーボール競技規則による。但し、選手は14名以内とする。
- 2 サービスゾーンは、エンドラインから6.5m以内の範囲とする。
- 3 参加チームは、エントリー変更の有無にかかわらず、受付時に「エントリー変更届」を提出し、変更がある場合は、JVA - MRS の「チーム加入選手一覧」を添付すること。
- 4 監督・コーチ・マネージャーは、マークを必ず左胸に着け、統一した服装（上は襟付きのもの、下はズボン形式で短パン、キュロットは不可、ライン・ロゴ等も統一）でベンチ入りすること。
- 5 ベンチスタッフは、JVA - MRS 登録並びに宣誓書に署名しているものに限る。
- 6 監督・コーチ・マネージャーのうち一人は、公益財団法人日本バレーボール協会ならびに日本小学生バレーボール連盟が共催する指導者研修会の受講証明書を所持し、試合中には胸に下げていなければならない（日スポ協指導員資格も可）。受講証明書を本人が受付時提示のこと。
- 7 次の試合のチームは、前試合の両チームがコートを退き、コートチェック終了後にコートに入ること。
- 8 公式練習において、エントリー以外の者の参加は認めない。また、競技フロアに入ることができるのは、原則エントリーされたベンチスタッフとする。
- 9 公式練習前の練習は、同一フロアのいずれかのコートが試合中であればパスのみとする。また、ネットを利用しての練習は禁止する。
- 10 リードするチームが1・2セットは11点、3セットは8点の時にテクニカルタイムアウトを健康管理のために適用する。給水場所はベンチエンドとし、給水を妨げないこと。
- 11 試合中、ボール籠は防球フェンスの外または壁際に置くこと。ドリンクなどの荷物はアップゾーンに置くこと。なお、1日目について各会場本部の指示に従うこと。
- 12 控えの選手は、座って観戦する。アップをする場合はアップゾーンで行うこと。
- 13 選手交代は、選手をサブスティテューションゾーンに入れ、スムーズに行うこと。（監督からのシグナルは不要）
- 14 審判は公認審判員で実施し、準決勝、決勝以外は原則として相互審判とする。第1試合の審判（主審・副審・線審・記録員）は、組合せ表の○印チームが行う。以後、前試合の敗者チームが行うことを原則とする。なお、細部については、審判委員長の計画による。
- 15 審判員は、審判服を着用すること。審判服を保有しない場合は、上が白の襟付きシャツ、下は紺のズボンも可とする。
- 16 各チームとも競技の円滑な進行に協力すること。
- 17 各チームの横断幕の掲示は、自チームの試合時のみとする。
- 18 体育館での上下足の区別を必ず行うこと。
- 19 ゴミは、各チームで必ず持ち帰ること。
- 20 体育館は公共の施設です。マナーを守り大切に使用すること。電源の使用は固く禁じる。

※ユニフォームについて

2023年度公益財団法人日本バレーボール協会6人制競技規則小学生バレーボール競技規則の付則2「袖の無いユニフォームは安全性を考慮し禁止とする」により、ノースリーブのユニフォームは着用できない。

また、上着は、必ずパンツの中へ入れるように指導すること。

※使用ボールについて

男子の部、男女混合の部はモルテン、女子の部はミカサです。